

山本 栄 大 阪

秘密保護法、戦争法、共謀罪と日本が戦争をする国へとシナリオが着々と進められている。安倍政権のメンバーが日本会議（草の根右派組織―青木理氏）に入っている人たちが構成され、「憲法改正」を早期に実現するとしています。

共謀罪は、治安維持法の再来と言われているが、マスコミではほとんど取り上げていない。森友学園問題がかなりの頻度でマスメディアが写し、否が応でも国民の関心が向けられているのに比べ、共謀罪は無視しており、むしろ意図的である。

地域で共謀罪の学習会をしたが、講師の弁護士が「特に『警察』が私たちの日常一般に対して一層監視を強化でき、戦争反対や様々な市民運動の動きに対して公然と介入できる。警察の捜査権限が拡大され、監視密告社会になるということには戦前戦中に逆戻りになる」。

立ち話や犬友とのおしゃべりもうかうか出来なくなる。「物言えば唇寒し」ポスターを貼っている方も引いてしまいかもしれない。

新日本歌人は、政治や社会を積極的に詠い、安倍政権の悪政に反応した歌も多い、最も共謀罪に目を付けられる協会である。内心の自由や表現の自由を侵す、共謀罪。歌人は共謀罪に絶対反対。許さない。

第27回 8・15を語る歌人のつどい

日時 2017年8月15日(火)午後1時30分開会

会場 日比谷図書文化館 コンベンションホール

(日比谷公園内 通称 日比谷図書館)

【講演】「歴史としての歌」

澤地久枝

ノンフィクション作家・九条の会呼びかけ人

【短歌リーディング】 冲ななも構成

金子貞雄 (作風) 春日いづみ (水甕) 冲ななも

(熾) 石川勝利 (花實) 三枝むつみ (水甕) 他

【スピーチ】「原発に警鐘を鳴らし続けて」

波汐國芳 (潮音)

「戦時下のわが道」

木下孝一 (表現)

「吉野昌夫の戦争詠・私のことなども」

久保田 登 (まつかり)

司会進行 久々湊盈子(合歓)内藤ます子(短詩形文学)

参加費 2000円(申込不要)

「8・15を語る歌人の会」 連絡先 下村すみよ

〒366-0053 深谷市秋元町12

電話番号 090-5409-11629